



# いきいきふるさと

発行/古里住民自治協議会 発行者/宮下 富雄 編集/広報委員会 第69号



## 誰もが安心して生活できる住みよい地域づくりを目指して

古里住民自治協議会 会長 宮下 富雄

本年度古里住民自治協議会の会長に選任されました宮下富雄でございます。よろしくお願い申し上げます。

古里住民自治協議会は設立以来「誰もがこの地に住むことに誇りを感じ夢と希望が持てる地域づくり」を基本とし、行政機関や関係団体と連携を密に活動を推進しています。

本年度は、新たに策定されました「第三次古里地区福祉活動計画」に基づき、地域が抱える問題や課題解決のため、関係機関や関係者と連携し、安心して生活できる住みよい地域づくりを目指し積極的に取り組みを進めてまいります。

コロナ禍であり先行き不透明な部分ではありますが、出来る限り工夫をしながら住民の皆様のご協力のもと、各種事業を役員一同力合わせて取り組んでまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。

## 有難うございました

古里住民自治協議会 前会長 金子 祐三

古里住民自治協議会の会長を3年間務めさせていただきました。大変お世話になりました。地区の皆様のご理解とご支援、役員の皆様のご協力により任務を全うすることが出来ました。心から御礼申し上げます。

コロナ感染拡大や台風災害など災害対応に終始した感がありますが、その時々判断や対応は大変貴重な経験であったと感謝しております。

少子高齢化と人口減少傾向が強まる中で「自分たちの地域は自分たちでつくる」という住民主体の自治は、今後更に必要性が増してくるものと思っています。住民自治協議会の存在は正にその必要性に軸足を置いたものと理解しております。

古里住民自治協議会は年を追う毎に地区の皆様、地区を代表する団体と認知されてきております。今後も皆様安心して生活ができる住みよい地域づくりを目指して活動して参ります。皆様のご支援と活動への参画を節にお願ひ申し上げます。

古里地区の更なる発展と、古里住民自治協議会の更なる進化を祈念し、退任の挨拶とさせていただきます。有難うございました。

## 令和4年度 事業計画 (2022年度)

「自分たちの地域は自分でつくる」ことを基本理念とし、ふるさとの歴史や伝統を活かした「特色ある地域づくり」を進めます。

### ○ 中核事業1 「高齢者の孤立化防止と避難行動要支援者への対応」

「第三次古里地区福祉活動計画」に基づき、高齢者の皆さんが生きがいをもって明るく過ごせるように、また、避難行動要支援者の皆さんが安心して生活できるように、地域福祉ワーカーや民生児童委員など関係者の皆さんと連携して事業を進めます。

### ○ 中核事業2 「大災害に備えた防災体制の構築」

「古里版 安心・安全防災マップ」を基に、自然災害や非常時における避難・救急体制を各自主防災会中心に構築し、安心・安全な地域づくりを進めます。

### ○ 中核事業3 「子どもたちの健やかな成長と青少年の健全育成」

地域の「子どもを守る会」や「学校」との連携のもと、次代を担う子供たちの育成を支援します。

### 総務部会



総務部会長  
宮澤 秀治

#### 古里住民自治協議会と 各地区の皆様との更なる連携をめざして

古里住民自治協議会の主たる事業は「福祉活動の推進」、「安心安全な地域づくり」、「こども達への支援」、「特色ある地域づくり」です。いずれも私たちが生活していく上で、とても大切なカテゴリーであります。ただ、普段は当たり前のことのように受け止めている日頃の生活も、いざ困難な状況に陥ったとたん普通の生活の大切さを感じるのではないのでしょうか。

具体的な展開は各地区の区長さん中心の活動に委ねられますが、その大切さについて古里住民自治協議会エリアの全員の皆さんに感じていただける活動ができれば、非常に素晴らしいことだと

思っております。現在実施している活動は全体から見れば一部のことでありますが、それを一つの信号として発信して、皆さんに「古里地区」の良さや親しみやすさ等々を感じていただけたなら、大変有り難くそして大変嬉しく名誉なことと思っております。その一つの組織であります私ども総務部会もその意義を達成するべく努力してまいりますので、皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

- 市・県など行政機関との連携
- 住民自治協議会の組織・運営の統括
- 支部活動の充実
- 広報誌「いきいきふるさと」の発行
- 環境美化活動の推進

### 安心安全部会



安心安全部会長  
野口 英俊

#### 安心・安全な 地域づくりをめざして

安心安全部会は中核事業2「大災害に備えた防災体制の構築」を基本に、交通安全、防犯、防災の3委員会及び防災指導員が連携し、事業を推進してまいります。

令和元年の台風19号による千曲川堤防決壊で古里地区は大きな被害を受けました。この災害により、更なる防災・減災の必要性を再認識したところです。今年度におきましても、「安心・安全防災マップ」(令和2年度保存版)を活用した防災訓練の実施等に取り組む予定です。

各種災害の防災・減災対策には、各区の自主防災会を始め地区の皆様方のご理解ご協力が是非

とも必要となります。よろしくお願い申し上げます。

(本部会の各委員会の主な事業は次のとおりです)

- 防災委員会  
大規模災害を想定した防災訓練(情報収集、救出・救護、避難所設営等)、防災講演会、水防倉庫防災設備整備等
- 交通安全委員会  
歩行者保護を目的として交通安全マナーアップ運動(原則として毎月第一水曜日に古里小前交差点、駒沢川天下橋交差点)、生活道路白線塗布、カーブミラーの清掃等
- 防犯委員会  
夏季・年末防犯パトロールの実施(区・防犯委員会)、警察・防犯協会への協力等

### 福祉健康部会



福祉健康部会長  
長崎 夫与志

#### 誰もが安心して生活できる 住み良い地域づくりを目指して

今回新たに作成された「第三次古里地区地域福祉活動計画」に基づいて地域住民の福祉の増進を目指すため、それぞれの地区の実情にあった地域福祉を醸し出して参りたいと思います。

日頃の日常生活が安心して生活できるよう五つの取り組みを実施してまいります。

- (1)集まる・交わる  
だれもが参加できる交流の場づくりや、生かぎの場づくりを行います。
- (2)育てる・支援する  
必要とする人に、必要なことをお手伝いできる、体制づくりをします。

- (3)守る  
避けられない自然災害や犯罪などからの災害を最小限に防ぎます。
- (4)見つける  
地域の皆様の自主性、主体性を大切に地域の課題やニーズを共にみつけ、共に考えます。
- (5)知る・知らせる  
必要とする人、知りたい人に、必要なこと、知りたいことを、知らせる体制をつくります。

たとえばこんな事をします。支え合い活動、まちの縁側、災害対策、サロン、はつらつ体操など、主役は地域に暮らす皆さん一人ひとりです。皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

文化教育部会



文化教育部会長  
宮野尾 文夫

子どもたちの健やかな成長と  
誇りが持てる地域づくりを目指して

本年度も中核事業3「子どもたちの健やかな成長と青少年の健全育成」を目標に、4つの委員会や他の部会、地域の諸団体及び小中学校との連携を密にして事業を推進してまいります。

青少年と高齢者が世代を超えて地域の文化・歴史・伝統を共に学びながら、愛着や誇りが持てる地域づくりを目指していきたいと思ひます。

皆様のご支援・ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

(主な事業は次のとおりです)

○「社会を明るくする運動」講演会

- 公民館活動委員会
  - ・地域公民館親善球技大会・ゴルフ大会
  - ・成人祝賀会・囲碁将棋大会・古里かるた大会
  - ・ふるさと文化芸能祭・人権教育研修会(各地区)
- 育成会活動委員会
  - ・各地域育成会交流会(スポーツ大会等)
- 青少年育成委員会
  - ・更生施設等視察研修・青少年健全育成事業(各地区)
  - ・東北中下校時あいさつ運動及び子ども見守り活動
- 人権共生委員会
  - ・古里地区人権住民集会

ふるさと部会



ふるさと部会長  
小林 茂雄

特色ある地域づくりの  
推進を目指して

令和4年度のふるさと部会は「ふるさとづくり委員会」と「北部幹線に係る地域活性化委員会」で構成され下記の事業目標で事業を行います。

1. ふるさとづくり委員会

(1)事業目標 「ふるさとの歴史や伝統を活かした特色のある地域づくり」

①ホテル観賞事業

北部スポーツ・レクリエーションパーク北側の田子川・土京川で6月中旬に実施予定です。大勢の皆さんの参加をお待ちしております。(コロナ感染拡大防止のため中止となることもあります)

②深掘り<古里探訪>冊子の作成事業

「史跡マップ」を基本に地区の時代遍歴、伝統行事、等を深掘りし小学生も理解できる冊子作りのための資料作りを行います。

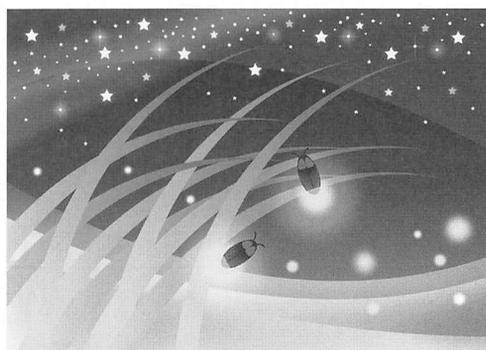
③通年を通して行う事業

地域の課題に柔軟に対応し他の部会が行う事業へも積極的に協力してまいります。

2. 北部幹線に係る地域活性化委員会

(1)事業目標「北部幹線沿いを対象とした活性化策の調査研究」

長野市の出前講座等を利用して、本年度も引き続き活性化策の調査研究を更に深めてまいります。

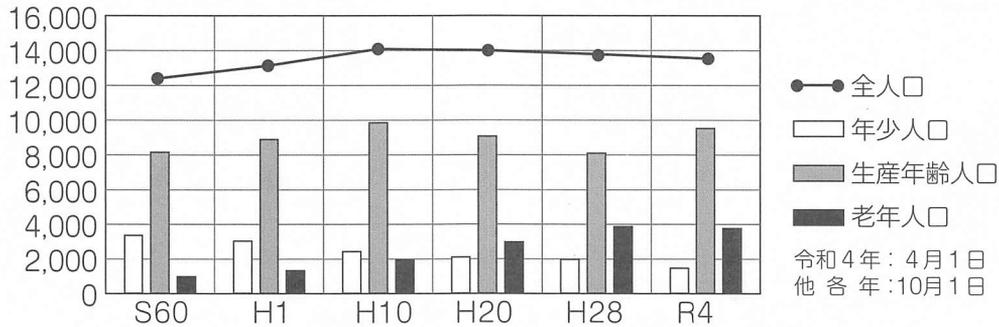


令和4年度 古里住民自治協議会 主な役員

会 長	宮下 富雄	総務委員(西三才区長)	小川 圭起	福 社 委 員 長	田村トシ子
副会長(総務部会長)	宮澤 秀治	々 (新町区長)	小橋 元春	健 康 委 員 長	盛田 美幸
事 務 局 長	吉原 実	々 (第二団地区長)	藤沢 勇夫	文化教育部会長	宮野尾文夫
財 務 委 員 長	北條 勤	広 報 委 員 長	金子 幸孝	公民館活動委員長	柄澤 佐一
監 事	吉村 守視	環 境 整 美 委 員 長	芹口 正次	育成会活動委員長	高岡 舞
監 事	宮川 好正	安 心 安 全 部 会 長	野口 英俊	青少年育成委員長	金井 幹雄
総務委員(富竹区長)	六川 武彦	交 通 安 全 委 員 長	篠原 篤	人権共生委員長	平野 誠
々 (下駒沢区長)	小山 博三	防 犯 委 員 長	保科 正美	ふるさと部会長	小林 茂雄
々 (上駒沢区長)	浅川 宗夫	防 災 委 員 長	西澤 薫	ふるさとづくり委員長	上條 得滋
々 (三才区長)	米山 豊	福 祉 健 康 部 会 長	長崎夫与志	北部幹線に係る地域活性化委員長	小林 茂雄

# 古里地区の人口動態 古里地区 年少人口・生産年齢人口・老年人口の推移

令和4年(2022)4月1日現在



	昭和60年	平成1年	平成10年	平成20年	平成28年	令和4年
全人口	12,263	13,037	14,046	13,957	13,708	13,317
年少人口 (率)	3,176 (25.9)	2,866 (22.0)	2,290 (16.3)	1,981 (14.2)	1,859 (13.6)	1,689 (12.7)
生産年齢人口 (率)	8,146 (66.4)	8,888 (68.2)	9,847 (70.1)	9,061 (64.9)	8,016 (58.5)	7,502 (56.3)
老年人口 (高齢化率)	941 (7.7)	1,283 (9.8)	1,909 (13.6)	2,915 (20.9)	3,833 (28.0)	4,126 (31.0)

○年少者(0~14才) ○生産年齢者(15~64才) ○老年者(65才以上)

# 区の実態・状況に目を向けて 区別 年少人口・生産年齢人口・老年人口

平成4年(2022)4月1日現在

	古里地区	富竹	金箱	下駒沢	上駒沢	三才	西三才	新町	第二団地
全人口 (割合)	13,317 (100)	5,485 (41.2)	1,001 (7.5)	1,818 (13.7)	2,453 (18.4)	1,102 (8.3)	948 (7.1)	378 (2.8)	132 (1.0)
年少人口 (率)	1,689 (12.7)	771 (13.0)	137 (13.7)	244 (13.4)	341 (13.9)	141 (12.8)	86 (9.1)	25 (6.6)	4 (3.0)
生産年齢人口 (率)	7,502 (56.3)	3,183 (58.0)	531 (53.0)	1,057 (58.1)	1,440 (58.7)	584 (53.0)	495 (52.2)	173 (45.8)	39 (29.5)
老年人口 (高齢化率)	4,126 (31.0)	1,591 (29.0)	333 (33.3)	517 (28.4)	672 (27.4)	377 (34.2)	367 (38.7)	180 (47.6)	89 (67.4)
世帯数 (割合)	5,607 (100)	2,335 (41.6)	384 (6.8)	731 (13.0)	971 (17.3)	456 (8.1)	410 (7.3)	215 (3.8)	105 (1.9)

○長野市住民基本台帳の登録人口資料による。そのため、実数値と一致しない場合があります。○集計区分の区名と行政区と一致しない場合があります。

## ふるさとの縁側

コロナ禍で人が集う機会が減少していますが、感染対策を講じて集まれる縁側を開催しています。15~20分程度の体操ですが、みんなで軽く体を動かしませんか？  
申し込みは不要です。近くにお寄りのついでに是非参加してください。

開催日時:基本毎月第2月曜日 午前10:30~  
場所:古里総合市民センター 多目的ホール  
今後の開催予定日:6月13日(月)  
7月11日(月)  
8月8日(月)

